

日立金属スイッチングハブ

ApresiaLightFM シリーズ

Ver. 1.08.00

リリースノート

制定・改訂来歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2014年 1月 31日	新規制定

# Ver. 1.08.00 リリース情報(2014年1月)

## 機能修正について

このバージョンでは、以下の機能を追加・修正しております。

### 機能追加

#### APLFM-10800-RC001

内容 MAC 認証機能、WEB 認証機能において、リンクダウンを伴わない同一装置内ポート間のローミング機能を追加しました。

関連 -

#### APLFM-10800-RC002

内容 SFP ベンダー情報を表示するコマンド(show sfp info)を追加しました。

関連 -

#### APLFM-10800-RC003

内容 SFP 光入出力パワー状態を表示するコマンド(show sfp diag)を追加しました。

関連 -

#### APLFM-10800-RC004

内容 SNMP 機能において、SFP ベンダー情報に関する MIB をサポートしました。

- ・ "sfpPortIndex"
- ・ "sfpVendorName"
- ・ "sfpVendorPN"
- ・ "sfpSerialNum"

関連 -

#### APLFM-10800-RC005

内容 SNMP 機能において、SFP 光入出力パワー状態に関する MIB をサポートしました。

- ・ "sfpDiagRXPowerValid"
- ・ "sfpDiagRXPower"
- ・ "sfpDiagTXPowerValid"
- ・ "sfpDiagTXPower"

関連 -

#### APLFM-10800-RC006

内容 SNMP 機能において、リンクダウン時の SFP 光入出力パワー状態に関する Trap を追加しました。

- ・ "sfpLinkDown"

関連 -

#### APLFM-10800-RC007

内容 起動時の簡易自己診断テスト結果の表示コマンド(show self-test result)を追加しました。

関連 -

APLFM-10800-RC008

内容 MAC 認証機能において、RADIUS Access-Request の「User-Name」情報のフォーマット形式を選択するコマンドを追加しました。フォーマット形式は、(大文字/小文字/-ハイフン区切り)より選択できます。

関連 -

APLFM-10800-RC009

内容 MAC 認証機能において、RADIUS Access-Request の「User-Password」情報のタイプ形式を選択するコマンドを追加しました。タイプ形式は、(入力文字列/User-Name 指定)より選択できます。

関連 -

APLFM-10800-RC010

内容 show tech\_support の表示情報において、PoE に関する情報(PoE System Status, PoE Port Status)を追加しました。

関連 -

APLFM-10800-RC011

内容 show tech\_support の表示情報において、CPU 例外処理が発生した場合のダンプ情報 (CPU Exception)を追加しました。

関連 -

APLFM-10800-RC012

内容 ポートの接続状態監視において接続の健全性が確認できない場合、装置内ログを保存して装置再起動により接続復旧を試みる機能を追加しました。自動再起動した場合の起動ログには"System restart"ログが出力されます。本機能は有効・無効を選択でき、デフォルトは無効です。

関連 APLFM-10702-RC001

APLFM-10800-RC013

内容 SNMP 機能において、ソフトウェアにて復旧処理が不可能なポート情報不定状態 (LinkError) が発生した場合の以下 Trap を追加しました。

- ・"linkErrorDetected"

関連 APLFM-10702-RC001

## 仕様変更

APLFM-10800-RC014

内容 WEB-UI 及び CLI 画面で表示される社名を「Hitachi Metals, Ltd」に変更しました。

関連 -

APLFM-10800-RC015

内容 WEB-UI の表示画面において、ウィンドウサイズを縮小した際に位置固定のため非表示となる一部メニューをウィンドウサイズに合わせて表示するよう変更しました。

関連 -

APLFM-10800-RC016

内容 System warm start 起動ログにおいて、リポート起因 (Console/web/telnet/SNMP/CPU Exception)の情報を表示するよう変更しました。

関連 -

APLFM-10800-RC017

内容 LACP フレームの送信元 MAC アドレスを、装置システムの MAC アドレスから送信ポートの MAC アドレスに変更しました。

関連 -

## 修正

APLFM-10800-RC018

内容 save all コマンドを実行し、再起動後に、show log で一部誤表示することがある問題を修正しました。

関連 APLFM-10702-ER001

APLFM-10800-RC019

内容 パケットストーム制御 (Traffic Control) の shutdown モードにおいて、ストームを検知した時に countdown 時間を待たずにポートがシャットダウンする問題を修正しました。

関連 APLFM-10702-ER002

APLFM-10800-RC020

内容 コンフィグファイルの TFTP ダウンロードにおいて、ログインバナー情報が上書きされない問題を修正しました。

関連 APLFM-10702-ER003

APLFM-10800-RC021

内容 ポート説明 (port description) でコメント文字列を入力した場合、設定保存後に再起動すると文字列の前後に 『"』 が付与される問題を修正しました。

関連 APLFM-10702-ER004

APLFM-10800-RC022

内容 MAC 認証数が 60 端末を超えた状態で、さらに無通信によるエージアウトが発生する端末がある場合、設定したエージアウト時間より長く (最大 2 倍) かかる問題を修正しました。

関連 APLFM-10702-ER005

APLFM-10800-RC023

内容 装置起動から約 497 日が経過している状態で、システム日時を設定 (time コマンドまたは SNTP 機能) した場合、設定日時より約 497 日先を誤表示する問題を修正しました。

関連 APLFM-10702-ER006

APLFM-10800-RC024

内容 ベンダー独自トラップにおいて、SNMPv1 generic-trap のタイプ値が enterprise specific(6) で送信するところ unknown(7) で送信される問題を修正しました。

関連 APLFM-10702-ER007

APLFM-10800-RC025

内容 RMON トラップにおいて、risingAlarm 及び fallingAlarm で送信される OID を修正しました。  
risingAlarm (OID 1.3.6.1.2.1.16.0.1)  
fallingAlarm (OID 1.3.6.1.2.1.16.0.2)

関連 APLFM-10702-ER008

APLFM-10800-RC026

内容 802.1x 認証において、認証機能を有効にする前にポートモード設定をホストベースからポートベースへ変更すると受信フレームが破棄される問題を修正しました。

関連 APLFM-10702-ER009

APLFM-10800-RC027

内容 WEB 認証において、認証成功している状態で URL に仮想 IP を入力すると再認証ログイン画面が表示される場合がある問題を修正しました。

関連 APLFM-10702-ER010

APLFM-10800-RC028

内容 WEB 認証において、SSL セキュリティポートとして設定し IE9 または IE10 ブラウザを使用している場合、ログイン認証画面が表示されない問題を修正しました。

関連 APLFM-10702-ER011

APLFM-10800-RC029

内容 ループ防止機能とパケットストーム制御機能を併用時において、各機能によるシャットダウンが同一ポートで発生した場合に、それぞれのリカバリー時間を経過しても自動復旧されない問題を修正しました。

関連 APLFM-10702-ER012

APLFM-10800-RC030

内容 SNMP MIB において、DRAM 使用率を示す MIB 値が誤表示となる問題を修正しました。  
dramUtilizationNotifyCurrentStatus ( 1.3.6.1.4.1.278.102.0.5.1.2.1 )

関連 -

APLFM-10800-RC031

内容 装置ログにおいて、SFP 状態が誤表示となる問題を修正しました。

関連 -

APLFM-10800-RC032

内容 CLI コマンド設定の入力文字列に「%」を使用していた場合、CLI コマンドで設定内容を表示すると装置再起動が発生する問題を修正しました。

関連 -

APLFM-10800-RC033

内容 LAG 構成において、EAP フレームが入力した VLAN 以外の VLAN にも LAG ポートより中継される問題を修正しました。

関連 -

APLFM-10800-RC034

内容 show tech\_support の system uptime 表示において、装置起動より 256 日経過すると値がリセットされる表示上の問題を修正しました。

関連 -

APLFM-10800-RC035

内容 装置への WEB HTTP アクセスにおいて、装置 IP アドレスの後に"/RH"を付加してアクセスした場合に装置が再起動する問題を修正しました。

関連 -

APLFM-10800-RC036

内容 TFTP によるコンフィグファイルのアップロードにおいて、装置の cos ポートマッピングが Ethernet(802.1q)無効かつ IP(TOS/DSCP)有効に設定されている場合、Ethernet(802.1p)の無効情報がアップロードしたコンフィグファイルに反映されない問題を修正しました。

関連 -

APLFM-10800-RC037

内容 MAC 認証の port 設定情報表示において、誤字表示を修正しました。  
(Inifite Infinite)

関連 -

APLFM-10800-RC038

内容 LLDP 中継機能において、LLDP フレームが入力した VLAN 以外の VLAN にも中継される問題を修正しました。

関連 -

## 既知の問題について

このバージョンでは、以下の既知の問題があります。

### 既知問題

APLFM-10800-ER001

現象 ApresiaLightFM124GT-SS のコンボポート(Fiber27,28)において、ポート設定を無効(port state disable)にした場合でも、光パワーが出力される問題があります。  
(当該ポート及び対向機器はリンクダウン状態となります)

回避策 -

APLFM-10800-ER002

現象 SNMP のグループ作成において、再起動時に SNMPv1 及び SNMPv2c の設定が自動で作成される問題があります。

回避策 -

APLFM-10500-ER001

現象 10M-half で設定されたポート間をループ接続した場合、フラッディングをしないことがあります。（その結果、ループ接続状態にありながら、ループが発生していないように見えます）

回避策 -

APLFM-10300-ER001

現象 本装置の起動途中に本装置と接続先装置のポートが一時的にリンクアップ・ダウンします。ログにリンクアップ・ダウンの記録が残ります。

回避策 -

## 適応機種一覧

バージョン	対象機器
1.00.00	ApresiaLightFM124GT-SS
1.01.01	ApresiaLightFM124GT-SS ApresiaLightFM108GT-SS ApresiaLightFM116GT-SS
1.03.00 1.04.00 1.05.00 1.06.00 1.07.00 1.07.01 1.07.02 1.08.00	ApresiaLightFM124GT-SS ApresiaLightFM108GT-SS ApresiaLightFM116GT-SS ApresiaLightFM108GT-PoE ApresiaLightFM116GT-PoE

### 輸出する際のご注意

本製品や本資料を輸出または再輸出する際には、日本国ならびに輸出先に適用される法令、規制に従い必要な手続きをお取りください。

ご不明な点がございましたら、販売店または当社の営業担当にお問い合わせください。

### 商標一覧

Apresia は、日立金属株式会社の登録商標です。

Ethernet/イーサネット は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。